

取扱説明書

この度は当社のフローリングをご購入頂きありがとうございます。設置を開始する前に全ての手順を読み、推奨事項に従って下さい。不適切な設置方法は保証の対象外になります。適切に設置され、メンテナンスを行えば長期間キレイな外観を保つことができます。

項目に✓をする	項目	標準	なぜ重要なのか
	下地床の平坦度	床下は、3m にわたって 5mm 以内の平らでなければなりません。	下地の床が平らでない場合は隙間、座屈、クリック部分の損傷を起こす可能性がある。
	床下の湿気	ASTM F2170 RH 90% ASTM F1869 3.63 kg/92 m2 CM 2.5% ASTM F2659 MC4.0	床下の湿気は、設置の失敗、アルカリ塩の蓄積によるジョイントの損傷につながる可能性があり、潜在的なカビの発生源の問題を引き起こす可能性があります。コンクリートの床下には 0.15mm のポリシートを敷く必要があります。
	下地床のたわみ	下地床は健全で構造的に上下に動かないものでなければなりません。	下地床のたわみはクリック部分の損傷を引き起こす可能性があります。
	推奨される基材	柔らかい基材は使用しない	追加のソフトアンダーレイ（クッション材）は使用しないで下さい。保証が無効になります。クッションビニール、浮き床、カーペットは下地には適しません。ビニール床材は、コンクリートの上に設置されている木材の上に設置しないで下さい。保証が無効になります。
	板材を点検する	設置する板材に損傷がないかしっかり点検します	設置する前に、日光の下で材料を検査し、色や輝きの欠陥や不一致など、目に見える欠陥/損傷がないか確認して下さい。フローリングの端がまっすぐかどうか、損傷がないか確認して下さい。取り付け後の表面欠陥に関するクレームは受け付けられません。
	適切な拡張スペースを保持する	浮き床は自由に移動できる必要があります。	不適切な拡張は、カッピング、隙間、クリック部分の損傷を引き起こす可能性があります。

1. 一般的な準備

必要ツール：スペーサー、ゴムハンマー、定規、鉛筆、巻尺、カッターナイフ、タッピングブロック、0.15mm のポリシート、トランジションモールドディング、杵鋸、チョークライン、目の保護具、水平器、膝パッド、ほうきもしくは掃除機。

- 設置前に、日光の下で材料を検査し、欠陥や色や光沢の相違など、目に見える欠陥や損傷がないか確認して下さい。また、床材の端が真っ直ぐで損傷がないか確認して下さい。取り付け後の表面欠陥に関するクレームはお受けできません。
- 主な光源の方向に沿って、窓に対して垂直に板を敷くのが望ましいです。最良の結果を得るには、必ず一度に 3~4 箱ずつ開梱し、設置中は違う箱の板を混ぜるようにして下さい。
- 床下地や現場の状況が、この説明書に記載されている仕様に適合しているかどうかを確認して下さい。床下地が仕様に適合していない場合は、設置せずに販売元に連絡して下さい。
- 設置前に製品を乱暴に扱うと、床材が損傷する可能性があります。これらの製品及び輸送には注意して下さい。箱は損傷しないように保管、輸送をし、平らな状態で保管し、端を立てないで下さい。
- フローリング製品は重く、かさばる場合があります。製品を取扱う際は常に適切な持ち上げ方をし、安全に扱える重量を持ち上げて下さい。可能な限り、台車や資材カートなどの資材運搬機器を使用して下さい。二人以上で運搬をすることを推奨します。
- 設置前に部屋の表面積を計算し、表面積の 10% の余裕を持たせて購入計画をして下さい。
- フローリングを設置する環境は製品の性能維持には重要です。フローリングは屋内でのみ設置することを目的としています。屋内の場所は、気候及び構造の要件も満たしている必要があります。
- 設置前に、未開封のパッケージのまま製品を 24 時間室温に慣らして下さい。設置前及び設置中は室温を 20°C ~ 25°C の一定温度に保つ必要があります。
- フローリングは温度管理された環境で設置して下さい。設置前、設置中は 20°C ~ 25°C の温度範囲で設置する必要があります。ポータブル ヒーターは、部屋と床下を十分に暖められない可能性があるためお勧めできません。石油ストーブは絶対に使用しないで下さい。
- 設置後は、床材が 10°C 未満または 50°C を超える温度にさらされないようにして下さい。
- 床面積が 400m² を超える場合や長さが 20m を超える場合は、拡張成形品を使用して下さい。

2. 床下情報

- このフローリングは、ほとんどの既存の硬質床材の上に設置できますが、既存の床面は構造的に健全で、清潔で、乾燥しており、滑らかでなければなりません。床下地の変動は 3m にわたって 5mm を超えてはなりません。
- 下地はどの方向でも 2m あたり 25mm を超えて傾斜してはなりません。
- 窪み、深い溝、伸縮継目、その他の床下の欠陥は補修及びレベリングコンパウンドで埋める必要があります
- 基材には過度な湿気やアルカリ性のモノがないようにして下さい。汚れ、塗料、ニス、ワックス、油、溶剤、異物、汚染物質を除去して下さい。
- 製品の汚れは膨張の原因となる為、下地の準備には石油、溶剤、柑橘系オイルを含む製品を使用しないで下さい。
- このフローリングには防水性がありますが、防湿層として使用することはできません。
- この製品は、サウナや屋外、キャンピングカー、ボート、ベランダ、温度管理がされていない部屋や家、浸水の危険がある場所には設置しないで下さい。
- 既存のシートビニール床はクッション材を使用しておらず厚さが 1 層を超えてはなりません。柔らかい下敷きや柔らかい基材は、クリック部分や凹みに対する製品本来の強度を低下せ、保証が無効になる可能性があります。
- 床下の湿気状態を含む現場の許容条件は、床材の寿命全体にわたって維持されなければなりません。

木製の床下

- このフローリングを既存の木製フローリングの上に設置する場合は、設置を始める前に、緩んだ板やきしみ音を修理することをお勧めします。
- 木製の床下地の MC (水分含有量) は 12%以下でなければなりません。
- 床下は乾燥している必要があります。床下空間を 0.15mm のポリシートを敷く必要があります。
- フローリングは既存の床板と交差するように敷くことをお勧めします。
- 合板、OSB、パーティクルボード、チップボード、ウェーハボードなど、その他のすべての床下材は構造的に健全でなければならず、製造元の推奨事項に従って設置する必要があります。
- 枕木構造の床下地やコンクリートの上に直接敷設された木製の床下地の上には設置しないで下さい。

コンクリート床下地

- 既存のコンクリート床下地は完全に硬化しており、少なくとも 60日経過し、滑らかで、乾燥していること、清潔で、ほこり、ワックス、溶剤、塗料、グリース、油、古い接着剤の残留物などの異物がすべて除去されている必要があります。
- 下地床は乾燥している必要があります。pH 制限は 9 で、水分含有量の要件を満たし、以下の方法に従ってテストする必要があります：
 - ✓コンクリートの水蒸気放出量は、24 時間あたり 93 m² あたり 3.63 kg MVER (水蒸気放出率) を超えてはなりません。これは、塩化カルシウム試験 (ASTM F1869) で測定できます。
 - ✓90% RH (ASTM F2170)
 - ✓水分含有量最大 2.5% (CM 法/ASTM F2659)
 - ✓ASTM F2659 に準拠した最大 4.0MC
- コンクリート床下地との間には、最低 0.15mm のポリフィルムを防湿層として使用することをおすすめします。

注意: 既存のフローリングの上に設置するのに適しているかどうかを判断する責任は、現場の設置者かフローリング請負業者のみにあります。適正に疑問がある場合は、既存のフローリングを取り除くか、その上に適切な下地材を設置する必要があります。既存の弾性フローリングの上に設置すると凹みが生じやすくなる可能性があります。

設置してはならない場所

- あらゆるタイプのカーペット
- 既存のクッション付きビニール床材
- あらゆるタイプの浮き床、ルースレイ、および周囲に固定されたシートビニール
- コンクリートの上、またはコンクリート上で使用される寸法木材や合板の上に敷かれる堅木張りの床/木製の床下地。

重要なお知らせ

床内輻射熱：フローティング方式を使用して、12mmの埋め込み輻射熱の上に床材を設置できます。最大動作温度は30°Cを超えないようにして下さい。過熱を防ぐために、床内温度センサーの使用をお勧めします。

- 輻射暖房を床下地の上に設置する場合は、設置前、設置中、設置後 24 時間は暖房をオフにして下さい。
- 新しく建設された輻射熱システムの上に設置する前に、システムを最大容量で稼働させて、輻射熱システムのセメント質トップから残留水分を排出します。
- 設置前及び設置中は、室内の温度が常に 20°C~25°Cに保たれていることを確認して下さい。
- 設置が完了したら、暖房システムを周囲温度でオンにし、通常の動作条件に達するまで 12 時間ごとに 5°Cずつ徐々に温度を上げていきます。
- 追加のガイダンスについては、輻射熱システムの製造元の推奨事項を参照して下さい。

警告：床下に埋め込まれていない電気加熱マットは、床下での使用は推奨されません。床下に埋め込まれていない電気加熱マットを直接使用すると、故障した場合に床の保証が無効になる場合があります。床材は、埋め込まれた放射床暖房システムの上に設置し、上記のガイドラインに従うのが最善です。

アドバイス：暖房システムの効果を最大限高めるには、快適な温度で「オン」の時間を設定し、快適温度より通常 4°C低い設定温度で「オフ」の時間を設定するのが最善です。設定温度は特に重要です。設定温度により部屋の温度が下がりすぎることがなくなり、必要なときに部屋を快適な温度に戻るのがはるかに速くなります。

3.設置方法

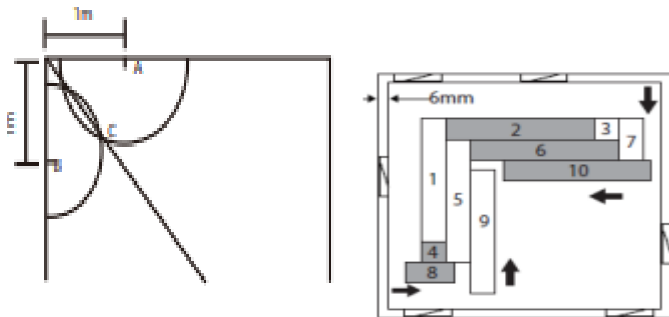
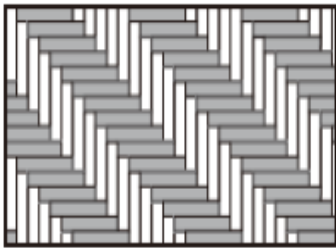
- 部屋からトリムモールディング、電化製品、家具を取り外します。最良の結果を得るには、ドア枠を切り落とし、床材が挟まれることなく自由に動くようにします。作業エリア全体のほこりやゴミを掃除します。
- 浮き床の場合、壁と柱、階段などの設備との間に必ず 10 mm の隙間を確保する必要があります。これらの隙間は製品の設置後にモールディングでカバーします。
- 可能な限り、フローリングの継ぎ目が既存の下地の継ぎ目の上に重ならないようにレイアウトをして下さい。
- キッチンキャビネットは製品の上に直接設置しないで下さい。同様の重い設備も最初に設置する必要があります。その後、10mm の隙間を残して製品を設置します。この隙間は、製品を設置した後トリムモールディングでカバーします。床が自由に動くようにして初めて、床の品質が保証されます。床を釘付けしたり、接着したり、下地に固定したりしないで下さい。
- **下敷き：**床に下敷きが事前に取り付けられていない場合は、音響性能を向上させ、下地の凹凸を吸収するために、下敷きを追加することをおすすめします。使用中にクリックシステムをサポートする、高密度強度 (EN 16354、ASTM D3575-20、Suffix D に従って ≥ 200 kPa)、厚さの変化 $<10\%$ (ASTM D3575-20、Suffix B に従って) で最大厚さ 1mm の下敷きを使用すると、最良の結果が期待できます。厚い下敷き、密度が低く圧縮強度が不十分な下敷きは、クリック部分を損傷する可能性があり、保証が無効になります。
- **カットのアドバイス：**シンプルなカッターナイフと定規を使い、柄の面を上にして、同じ軸に沿って何度も強く切ります。ナイフは表面を貫通しませんが、深い切り込みが入ります。次に、一方の手で板の半分を抑え、もう一方の手を切りこみのすぐ近くに置き、下に向かって力を加えると板が割れます。

注意：各板の裏面に記された「L」または「R」の文字は、2つの異なる方向を示しています。各ボックスには、「L」板と「R」板が同じ数入っています。「L」と「R」に注意し、必ずペアで取り付けして下さい。以下の説明図では、「L」板は白で、「R」板は灰色で表されています。



- 明確に区別できるように山分けしておけば、「L」または「R」のマークをカットした場合でも正しい板を見つけやすくなります。

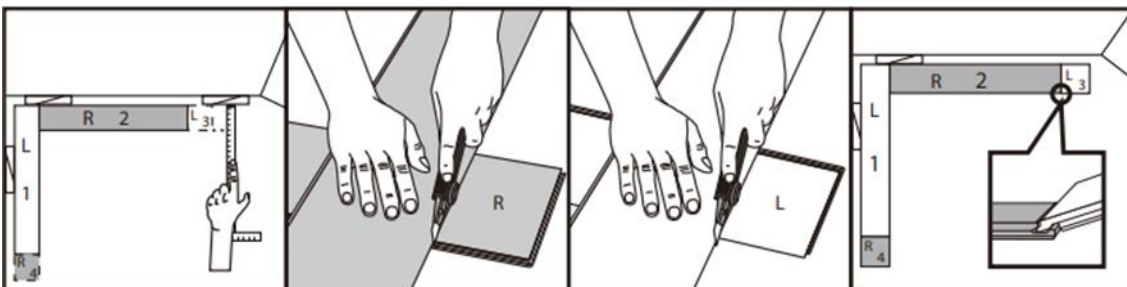
方法1 -FISHBONE DIAGONAL PATTERN

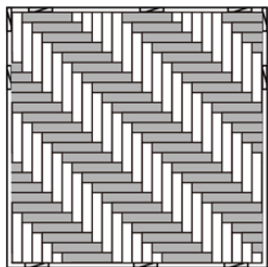


- 鉛筆、ヒモ、定規を使用して、イメージに合わせてパターンを合わせるために使用する 45 度の線を引きます。次に、壁との間に 10mm の隙間を残しながら、壁全体にスペーサーを交互に配置します。

- ドアの反対側の左隅から始めます。最初に「L」マークの板を使用し、舌側（凸側）を壁に当てます。次に 2 番目の板「R」を取り、1 番目の板に対して図のように配置します。（ページの下部にあるはめ込み方法のアドバイスを参照して下さい）。3 番目と 4 番目の板については、以下のカットアドバイスを参照し、手順に従って設置を続けます。

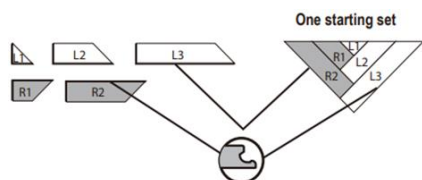
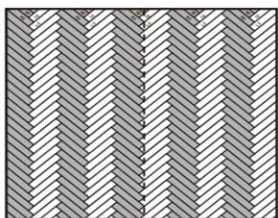
カットのアドバイス： 3 番目「L」、4 番目「R」、および短辺が壁に接するその他の板を取り付けるには、板の長さを測り、それに応じてカットします。板の正しい面を使用していることを確認して下さい。（下の図を参照）



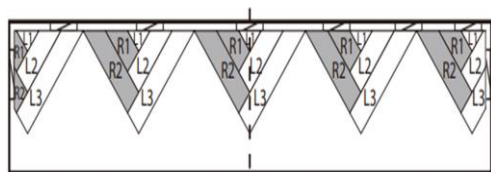


- この順序は例として示したものです。部屋の形状によって異なります。重要なのは常に壁に沿って配置を始めることです。

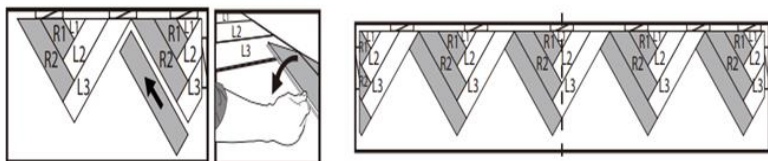
方法 2- FISHBONE PATTERN



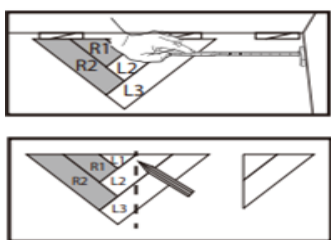
- 最初に、箱の内側にあるカットングプレートに従って、スターティングセットに必要な5つのピース (L1、L2、L3、R1、R2) をカットします。スターティングセットのピースを作成する時はそれぞれ違う板を使用して下さい。同じ板を使用してそれぞれのピースを作成しないで下さい。



- 最初のスターティングセットを部屋の中心線を通るチョークラインに合わせます (中心を合わせるには、線がスターティングセットの先端を通るようにします)。壁との間には常に 10mm の隙間を残して下さい。

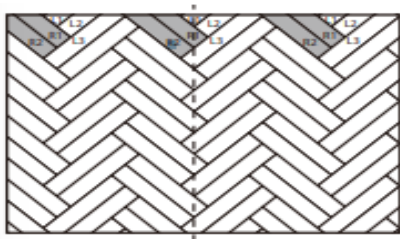


- 各スターティングセットの幅は 1004mm です。部屋の幅を計測して、必要なスターティングセット数を計算します。それぞれのスターティングセットは図のようにカットしていない1枚の板ではめ込むことができます。

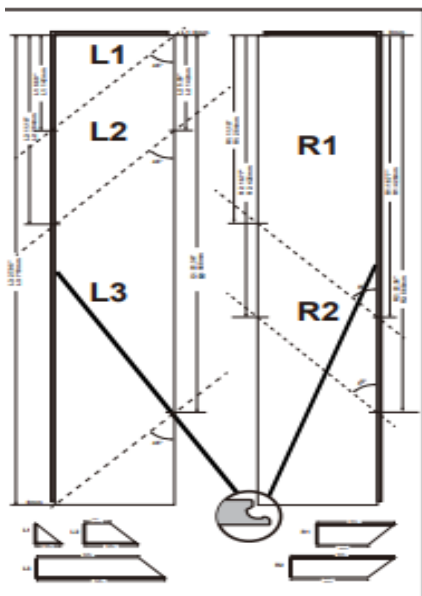


- 両側の壁に到達したら、壁と最も近いスターティングセットの間との距離を測定します。新しいセットを組み立て、その上に測定した距離をマークし、板をカットし（このセットは分解することができます）隙間に板を設置します。
- これらの手順を繰り返し、部屋全体に製品を設置していきます。

方法 3- DOUBLE FISHBONE PATTERN

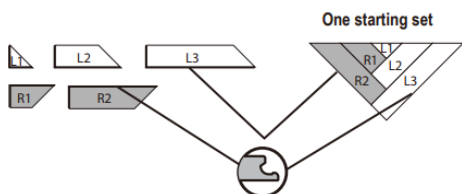


STARTING SET



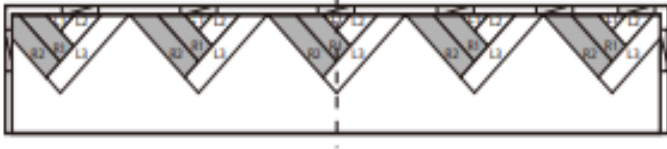
Plank	Groove side	Tongue side
L1	142 mm	0 mm
L2	284 mm	142 mm
R1	426 mm	284 mm
R2	568 mm	426 mm
L3	710 mm	568 mm

Groove:  Tongue: 

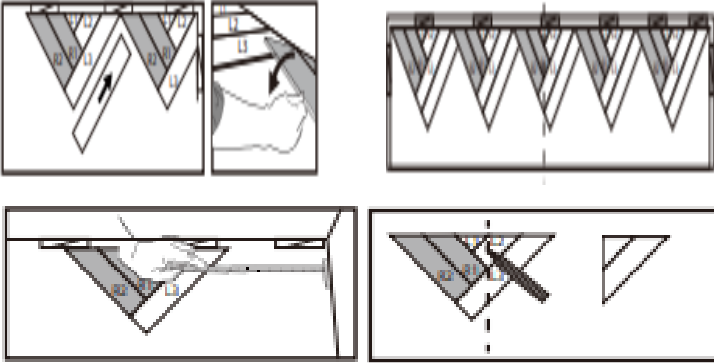


注意: ダブルフィッシュボーンパターンの場合、箱のカットングプレートに示されているものと異なります。上記表の寸法を使用して、スターティングセットの5枚の板（L1、L2、L3、R1、R2）を適切なサイズにカットします。

- 必要な5つのスターティングセットピース（L1、L2、L3、R1、R2）を作成するには、合計5枚の板が必要です。1セット内で同じ板を使用することはできません。



- 最初のスターティングセットを部屋の中心線を通るチョークラインに合わせます（中心を合わせるには、線がスターティングセットの先端を通るようにします）。壁との間に 10mm の隙間を残して下さい。



- 各スターティングセットの幅は 1004mm です。部屋の幅を計測して、必要なスターティングセット数を計算します。それぞれのスターティングセットは図のようにカットしていない 1 枚の板ではめ込むことができます。
- 両側の壁に到達したら、壁と最も近いスターティングセットを組み立て、測定した距離をマークし、板をカットし（このセットは分解することができます）隙間に板を設置します。
- これらの手順を繰り返し部屋全体にフローリングを設置していきます。

重要：接着力を高めるために、板の短辺のクリック部分の内側に、硬化性接着剤を塗布することをお勧めしますが接着剤を過剰に使用しないで下さい。床の表面に余分な接着剤がはみ出た場合は、すぐに拭き取って下さい。

はめ込み方法のアドバイス

平行パネルの長辺の端に角度を付けて斜めにはめ込みます。短辺の端を垂直の板にしっかりとめ込みます。はめ込んだ後は板の端を軽く叩きしっかりとまっていることを確認します。

重要：両方の板の高さが同じでなかったり、しっかりとハマっていないことに気付いた場合は、ページの下部にある分解手順に従って分解し、クリック部分の内側にゴミが詰まってないか確認して下さい。クリック部分がズレた状態で無理に押し込もうとすると損傷する可能性があります。

警告：クリック部分が適切にはめ込まれておらず、ズレた状態で無理やり押し込もうとすると、クリック部分が損傷する可能性があります。

パイプ用の穴



- パイプの直径を測り、20mm 大きい穴を開けます。図のようにカットし、床に板を置きます。次に、切り取った部分の板を置きます。

ドアモールディングと幅木



- 図のようにドアモールディングの隣にボード（装飾面を下にして）を置き、のこぎりで切ります。次に、板をモールディングの下にスライドさせます。

湿った場所への設置

重要：この製品は、流水のある湿った場所や、プールやシャワーエリアなどの排水溝が組み込まれた場所への設置は保証されません。

- T型モールディングを使用して、濡れたエリアと設置部分から分離します。
- 圧縮可能なPEフォームのバックアップロッドを使用して拡張スペースを埋め、モールディングを取り付ける前に、設置の全周囲を柔軟な100%シリコンシーラントで覆います。シリコンチューブは、ホームセンターなどで購入できます。

重要：アクリル系シーラントは使用しないで下さい。

- ドア枠やその他の固定物との接続部分にはシリコンシーラントを塗布します。

4. 設置の完了

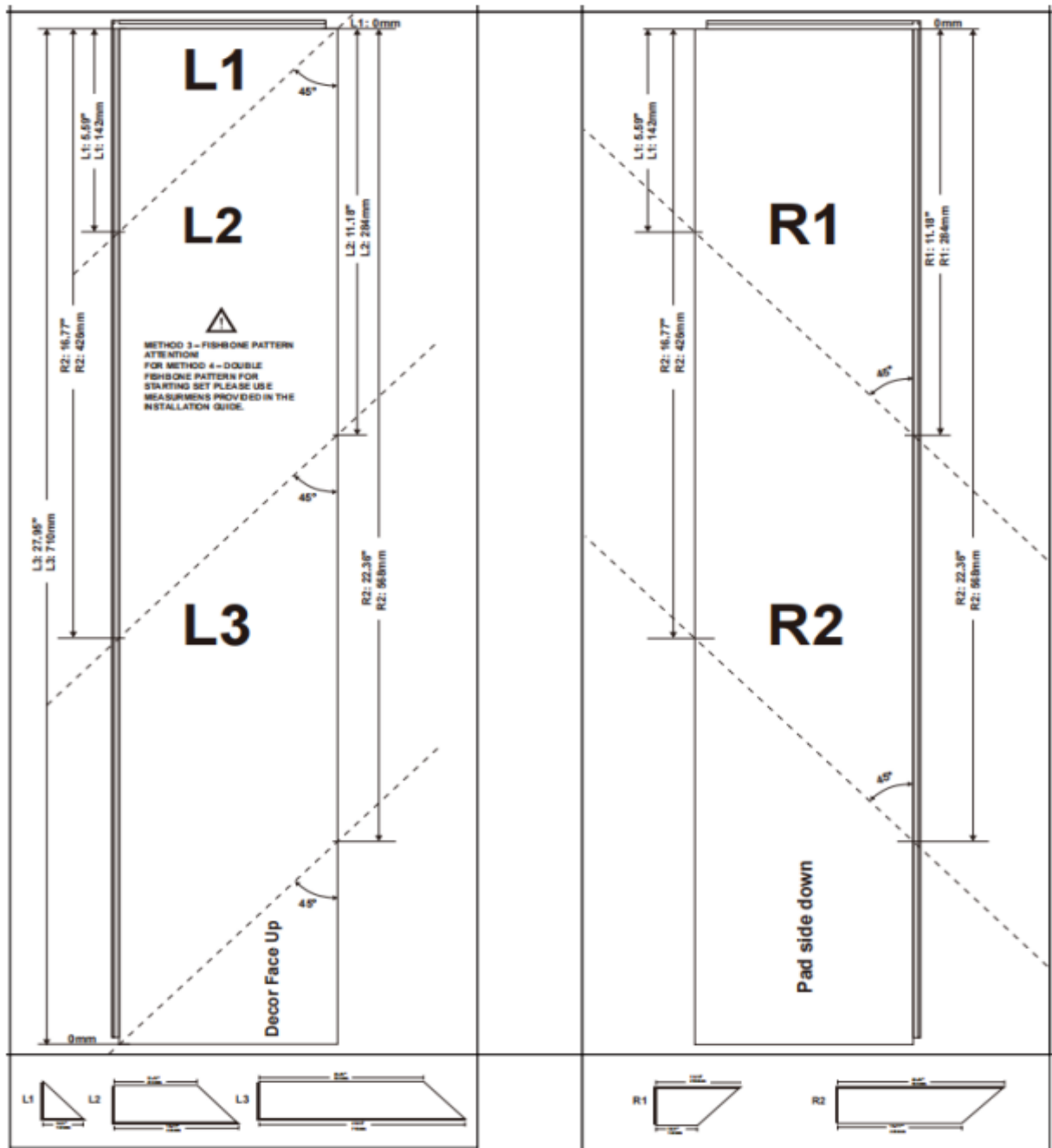
- 壁モールディングやトランジションストリップを設置して、床材の露出した端をすべて保護します。モールディングと板材の間にわずかな隙間を設けます。板材が床下に一切固定されていないことを確認して下さい。
- 出入口やフローリングが他のフローリングの表面と接する可能性のあるその他の場所では、露出した端を覆うためにトランジションモールディングを使用する必要がありますが、フローリングを挟まないで下さい。フローリングと隣接面の間には10mmの隙間を残して下さい。

5. メンテナンス

- 製品を直射日光から保護するために、カーテン、窓用トリートメント、窓のUV着色などの適切な窓カバーを使用して下さい。直射日光に長時間さらされると、変色する可能性があります。
- 柔らかい毛のアタッチメントを使用して、毎日掃除機をかけるか掃き掃除をして下さい。ビーター付きの掃除機は使用しないで下さい。
- 表面を磨いたり研磨したりしないで下さい。
- こぼれた液体や余分な液体はすぐに拭き取って下さい。
- 必要に応じて湿らせたモップを使用し、ビニール床に推奨されている中性洗剤を使用して下さい。
- この製品には家庭用スチームモップの使用が許可されています。適切な柔らかいパッドを使用し最低水圧で使用して下さい。長時間（30秒以上）1か所にスチームモップを当てないで下さい。適切な使用方法については、モップの製造元のマニュアルを参照して下さい。
- 家具の下にはフェルトプロテクターなどの適切な床保護具を使用して下さい。キャスター付きの移動式家具等には直径5cmのキャスターを装備して下さい。
- 家の中に持ち込まれる汚れの量を減らすために、屋外の出入口に歩行用マットを設置して下さい。ラテックスやゴムの裏地が付いたマットは、永久的な変色を引き起こす可能性があるため、使用しないで下さい。
- 床のメンテナンスに研磨剤、漂白剤、ワックスなどは使用しないで下さい。
- 頑固な汚れには、臭いの少ないミネラルスピリットまたは変性アルコールを清潔な布につけて使用して下さい。また、化学薬品を床に直接かけないで下さい。
- 重い物を床の上で引きずったり滑らせたりしないで下さい。

6. 分解

分解するには、設置時と逆の手順で製品を1枚ずつ持ち上げて分解します。



Plank	Groove side	Tongue side
L1	142 mm	0 mm
R1	284 mm	142 mm
L2	426 mm	284 mm
R2	568 mm	426 mm
L3	710 mm	568 mm